

# McLaren Honda MP4/4

1988 WORLD CHAMPIONSHIP WINNING CAR

16

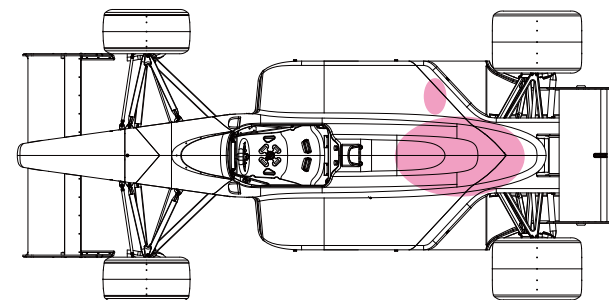
マクラーレン ホンダ  
MP4/4

最速の世界を制した伝説のメモリアルマシンを  
内部機構まで完全再現！



# Mission 59 ターボチャージャー (右) を組み立てる

今号は、前号に続きターボエンジンの心臓部ともいえるターボチャージャー (右) を組み立てる。これで左右のターボチャージャーが揃う。その後に、エンジンブロックにフューエルコンプレッサーとヘッドタンクホースを取り付け、エンジンブロック前面のディテールを完成に近づけていく。



## 今号のパーツ

① エキゾーストベース (左) ダイキャスト製



② エキゾーストベース (右) ダイキャスト製



③ ターボチャージャー F (右)



④ ターボチャージャー B (右)



⑤ ターボチャージャー A (右)



※ ③～⑤はHIPS (スチロール樹脂) 製

エキゾーストベースは、排気ガスを通すエキゾーストパイプとエンジンをつなぐ接続部分だ。本モデルでは、エンジンやエキゾーストパイプと同様に、エキゾーストベースもダイキャスト製とすることで、より重厚な質感を再現している。

◀MP4/4のエキゾーストパイプ。

## 今号で使用する道具

- ・プラモデル (スチロール樹脂) 用接着剤
- ・瞬間接着剤 ・ピンセット ・つまようじ
- ・カッター ・カッティングマット
- ・マスキングテープ

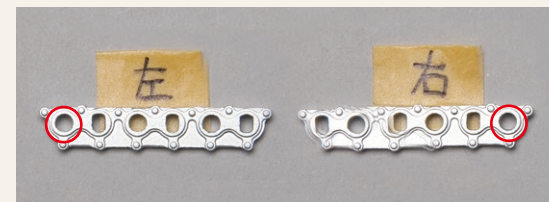
## 用意するもの

- ・フューエルコンプレッサー ※58号で使用のランナーパーツ
- ・ヘッドタンクホース ※58号で使用のランナーパーツ
- ・ターボチャージャー D (右) ※58号で提供のランナーパーツ
- ・ターボチャージャー C (右) ※58号で提供のランナーパーツ
- ・エンジンブロック ※58号で組み立て

## ポイント

エキゾーストベースの左右の見分け方

●エキゾーストベースは、模様のある表側を上にして、赤丸で示した丸い穴を写真のように配置した時に、丸い穴が左側にあるのが (左)、右側にあるのが (右) となる。今号では保管パーツとなるので、左右が分かるようにマスキングテープなどでタグを付けておくとよい。



In Focus

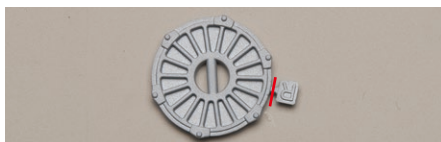


# 1 ターボチャージャー (右) を組み立てる

- 58号で提供されたランナーパーツのターボチャージャー D (右)とターボチャージャー C (右)を用意する。

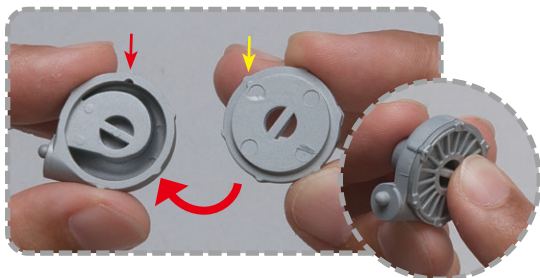


- ④ターボチャージャー B (右)についている印の赤線部分をカッターで切り離す。

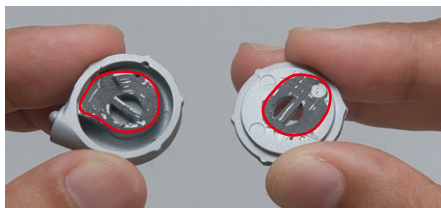


## 《仮組み》

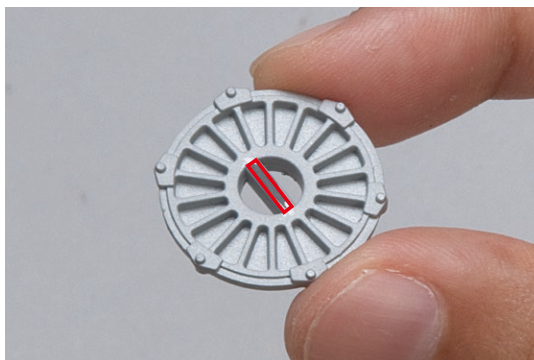
- ⑤ターボチャージャー A (右)の赤矢印で示した凹みと、ターボチャージャー B (右)の黄色い矢印で示した突起を組み合わせるので確認する。



- ターボチャージャー A (右)とターボチャージャー B (右)のそれぞれ赤枠で示した接着面の塗装をカッターの刃のない部分ではがす。



- ターボチャージャー B (右)の表面、赤枠で示した部分も後に接着面となるので、カッターの刃のない部分ではがす。



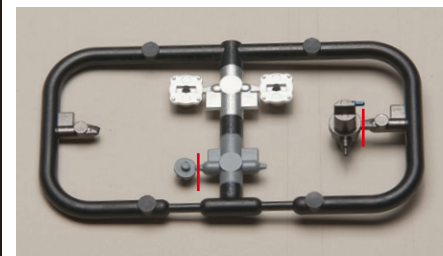
- ターボチャージャー A (右)の接着面にプラモデル (スチロール樹脂)用接着剤を塗り、仮組みしたようにターボチャージャー B (右)を組み合わせて、2~3分押さえる。



- 1時間ほど置いて、完全に接着されていることを確認する。



- ランナーパーツを裏返し、ターボチャージャー D (右)とターボチャージャー C (右)の赤線の部分をカッターでランナーから切り離す。



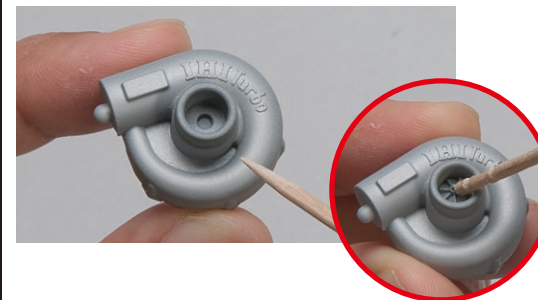
## 《仮組み》

- ターボチャージャー C (右)の裏面にある黄色い丸で示した突起と、ターボチャージャー A (右)の赤丸で示した凹みを合わせるので確認する。



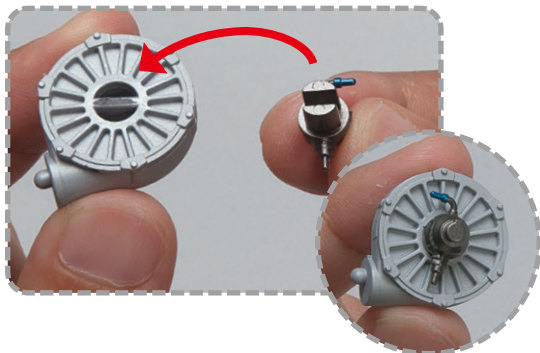
- ターボチャージャー C (右)を入れたら、つまようじの先などできちんとはまっているか確認する。

- ターボチャージャー A (右)の凹みに、つまようじの先で瞬間接着剤を少量塗り、仮組みしたようにターボチャージャー C (右)を組み合わせ、つまようじの裏などで1分ほど押さえる。

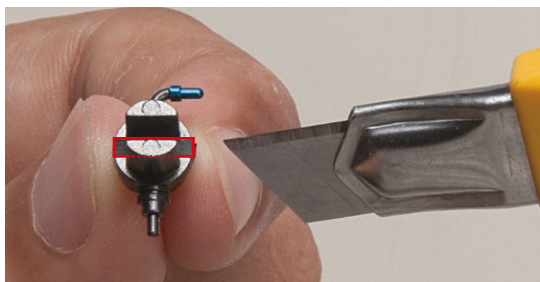


《仮組み》

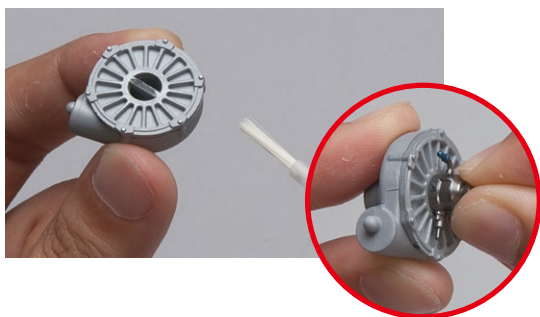
ターボチャージャー B (右)の2つの穴に、ターボチャージャー D (右)の二股に分かれている部分を写真のような向きで差し込み、接着面を確認する。



●ターボチャージャー D (右)の赤枠で示した接着面の塗装を、カッターの刃のない部分ではがす。



●ターボチャージャー B (右)の接着面にプラモデル(スチロール樹脂)用接着剤を少量塗り、仮組みしたようにターボチャージャー D (左)を組み合わせて、2~3分押さえる。



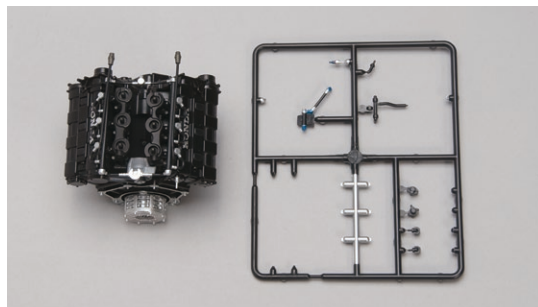
●そのまま1時間ほど置いて、完全に接着されたことを確認する。ターボチャージャー (右)ができた。



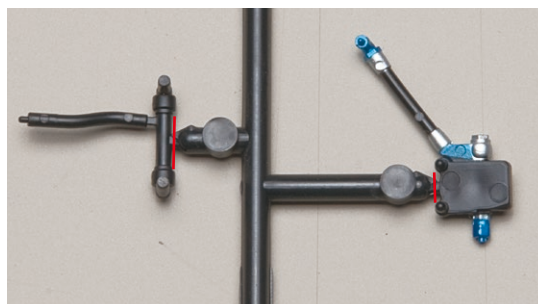
2

エンジンブロックにフューエルコンプレッサーとヘッドタンクホースを取り付ける

●58号で組み立てたエンジンブロック、58号で使ったランナーパーツのフューエルコンプレッサーとヘッドタンクホースを用意する。

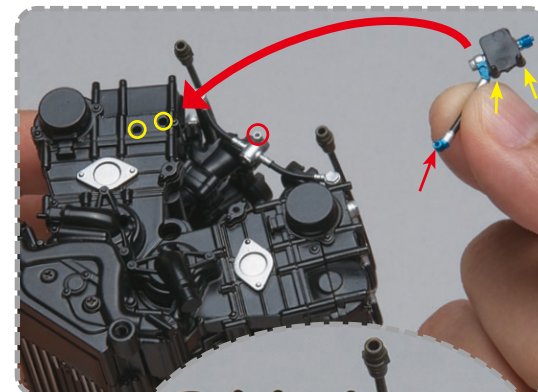


●ランナーパーツを裏返し、フューエルコンプレッサーとヘッドタンクホースを、赤線で示した部分をカッターで切り離す。

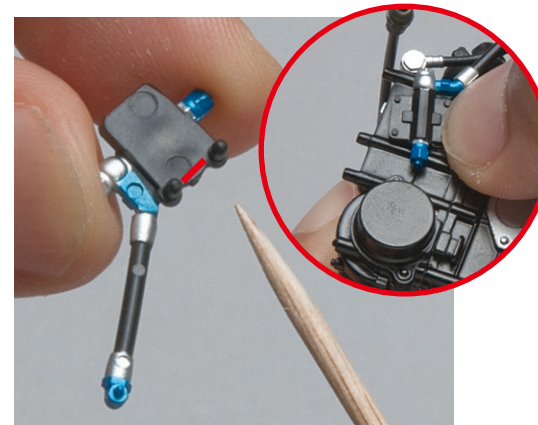


《仮組み》

フューエルコンプレッサーの黄色い矢印で示した2つの突起をエンジンブロックの右側面前方にある黄色い丸で示した2つの穴に、赤矢印で示した突起を赤丸で示したフューエルパイプの3ウェイジョイントの中央の穴に、それぞれ組み合わせることを確認する。

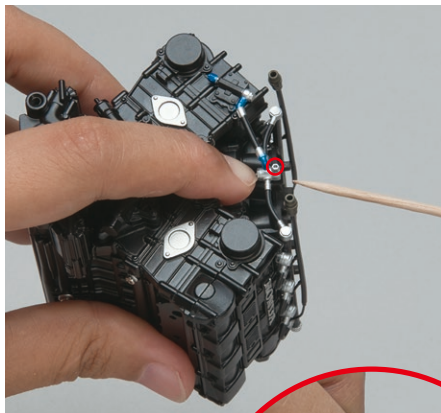


●フューエルコンプレッサーの赤線で示した2つの突起の間に、瞬間接着剤をつまようじの先で少量塗り、仮組みしたように合わせて1分ほど押さえる。

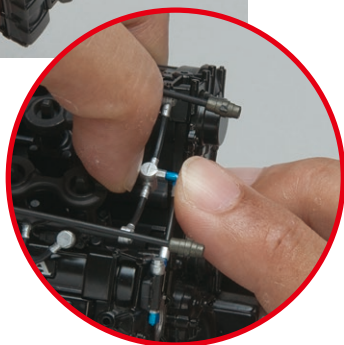




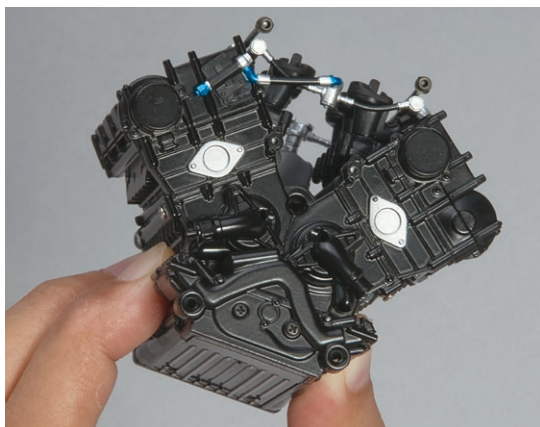
● 3ウェイジョイントの赤丸で示した中央の穴に、瞬間接着剤をつまようじの先で少量塗り、仮組みしたようにフューエルコンプレッサーの先端を差し込んで1分ほど押さえる。



■ 3ウェイジョイントの穴の部分は浮いた状態になっているので、写真のように両側から押さえる。

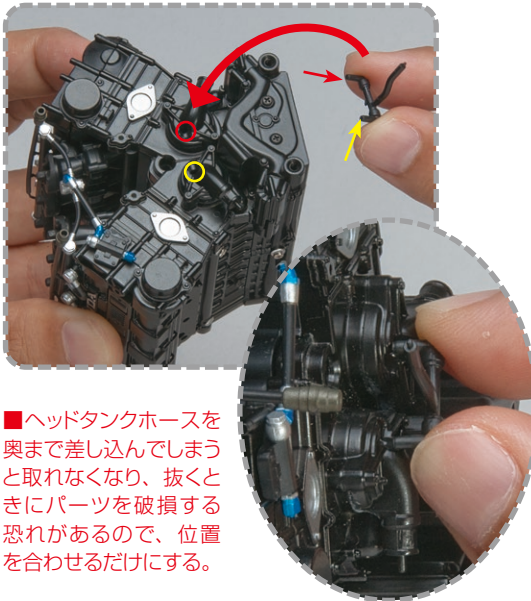


● エンジンブロックにフューエルコンプレッサーが取り付けられた。



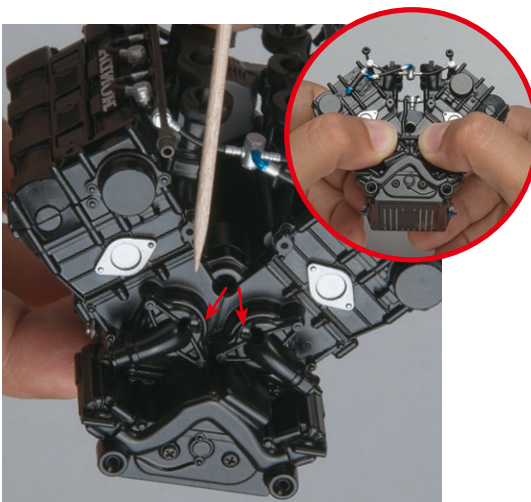
### 《仮組み》

ヘッドタンクホースの赤矢印と黄色い矢印で示した部分を、エンジンブロック前面の左右のウォーターポンプの上部にある同色の穴に合わせるのを確認する。

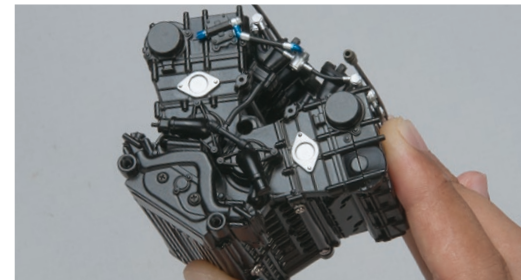


■ ヘッドタンクホースを奥まで差し込んでしまうと取れなくなり、抜くときにパーツを破損する恐れがあるので、位置を合わせるだけにします。

● ウォーターポンプの赤い矢印で示した穴の横にある凹みに、瞬間接着剤をつまようじの先で少量塗り、ヘッドタンクホースを奥まで差し込み、1分ほど押さえる。

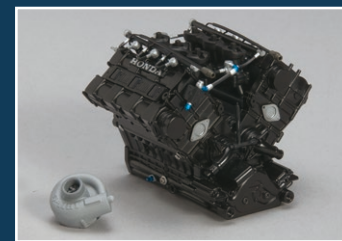


● エンジンブロックにヘッドタンクホースが取り付けられた。



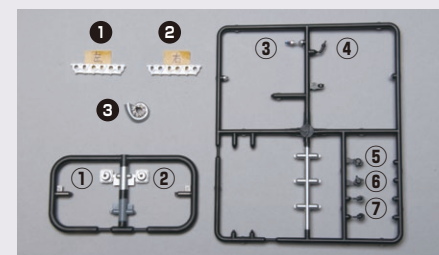
### 今号の完成

ターボチャージャー（右）を組み立てたほか、エンジンブロックにフューエルコンプレッサーとヘッドタンクホースを取り付けた。



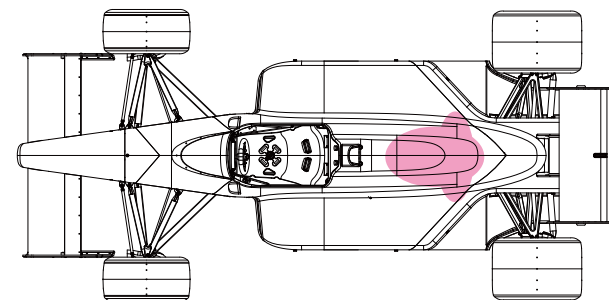
### 保管パーツ

今号で使用しなかった①エキゾーストベース(左)、②エキゾーストベース(右)、③ターボチャージャー F(右)のほか、ランナーパーツの①ターボチャージャー E(左)、②ターボチャージャー E(右)、③チェックバルブ、④ウォーターインレット、⑤スロットセンサー(右)、⑥スロットセンサー(左)、⑦オイルフィルタージョイント×2は後の号で使用するまで大切に保管しておこう。



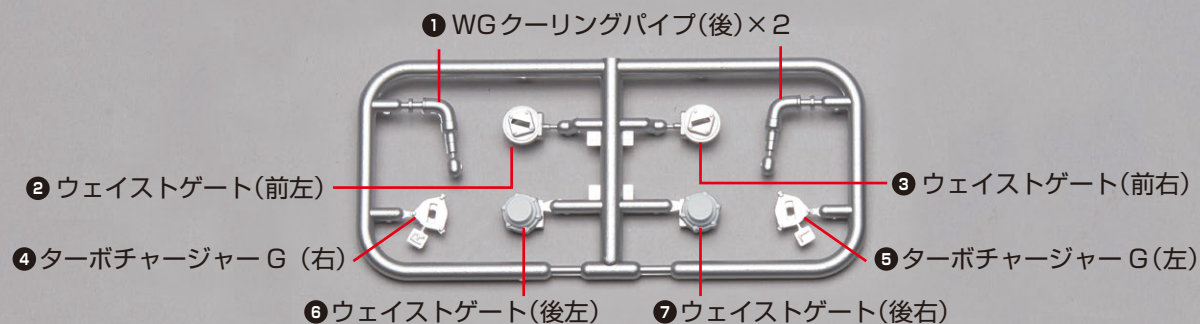
# Mission 60 ウェイストゲートを組み立てる

今号は、排気ガスの流入量を調節するウェイストゲート(左)(右)を組み立てる。さらにエンジンブロックに水冷式オイルクーラーを装着し、オイルフィルタージョイントを取り付けるほか、ヘッダータンクやターボチャンバーにパーツを取り付け、細かいディテールを再現していく。



## 今号のパーツ

### ランナーパーツ



⑧ 六角レンチ(2.5×20×120ミリ)



⑨ ビスF (3.0×35C-M BK)×2



※ビスは予備1本を含む

※①～⑦はHIPS(スチロール樹脂)製

ウェイストゲートは、ターボチャージャーへの排気ガスの流入量を調節するバルブのこと。これにより安定した過給圧を得ることができる。本モデルでは、樹脂製の分割パーツを使用することで、ウェイストゲートの複雑な形状やボルトなどのディテールを再現している。

◀MP4/4のウェイストゲート。

## 今号で使用する道具

- ・プラモデル(スチロール樹脂)用接着剤
- ・瞬間接着剤 ・ピンセット ・つまようじ
- ・カッター ・カッティングマット
- ・ティッシュペーパーなどの柔らかいもの

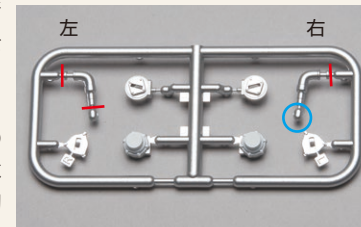
## 用意するもの

- ・ヘッダータンク ※53号で組み立て
- ・ターボチャンバー ※54号で組み立て
- ・水冷式オイルクーラー ※55号で組み立て
- ・チェックバルブ・ウォーターインレット・スロットセンサー(右)・スロットセンサー(左)・オイルフィルタージョイント×2 ※59号で使用のランナーパーツ
- ・エンジンブロック ※59号で組み立て

## ポイント

WGクーリングパイプでウェイストゲートの左右を見分ける

●ウェイストゲートは左右がよく似ており、見分けるのが難しい。そのため、左右同じ形をしているWGクーリングパイプ(後)のひとつは青丸で示した部分を残しておくことで、左右を見分ける目安とする。青丸の部分は、最終的な取り付けの前に切り離す。



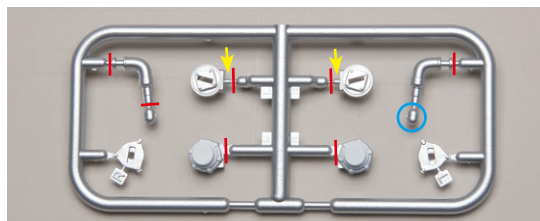
■赤線部分をカッターで切り離す。

In Focus



## 1 ウェイストゲートの(左)(右)を組み立てる

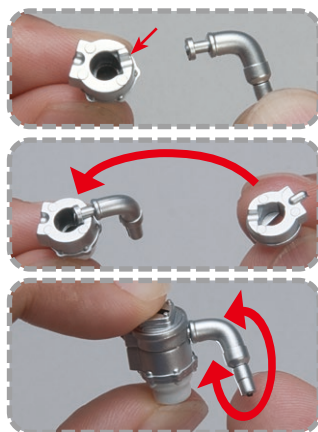
- ①WGクーリングパイプ(後)×2、②ウェイストゲート(前左)、③ウェイストゲート(前右)、④ウェイストゲート(後左)、⑤ウェイストゲート(後右)の赤線部分をカッターでランナーから切り離す。



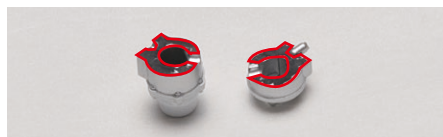
■WGクーリングパイプ(後)のひとつは青丸で囲んだランナーを残したものをWGクーリングパイプ(後右)と決める。もう一方はWGクーリングパイプ(後左)。ウェイストゲート(前左)とウェイストゲート(前右)は黄色い矢印で示した突起を残してカットする。

### 《仮組み》

ウェイストゲート(後左)の赤矢印で示した凹みに、WGクーリングパイプ(後左)の凹みを合わせる。さらにウェイストゲート(前左)の凹みを組み合わせ、接着面を確認する。この時、WGクーリングパイプ(後左)が回転することも確認する。

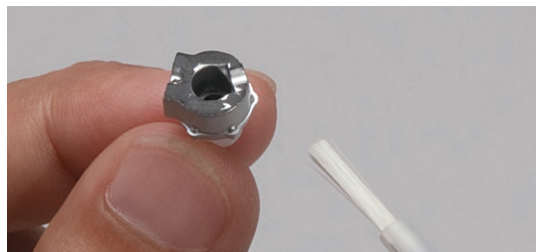


- ウェイストゲート(後左)(前左)の赤枠で示した接着面の塗装をカッターの刃のない部分ではがす。



■パーツ表面の塗装を傷つけないよう、ティッシュペーパーなど柔らかいものを敷いて作業するとよい。

- ウェイストゲート(後左)の接着面に、プラモデル(スチロール樹脂)用接着剤を塗る。

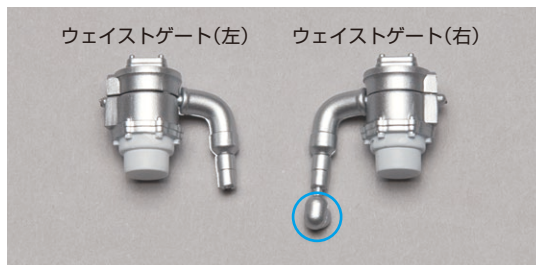


- ウェイストゲート(後左)に、仮組みしたようにWGクーリングパイプ(後左)とウェイストゲート(前左)を組み合わせ、2~3分押さえる。ウェイストゲート(左)ができた。



■WGクーリングパイプ(後左)が回転することを確認してから1時間ほど置き、完全に接着されていることを確認する。

- 同様の作業をして、ウェイストゲート(後右)、WGクーリングパイプ(後右)、ウェイストゲート(前右)を組み立て、ウェイストゲート(右)ができた。



■ウェイストゲートの左右は、青丸で示した部分で区別する。

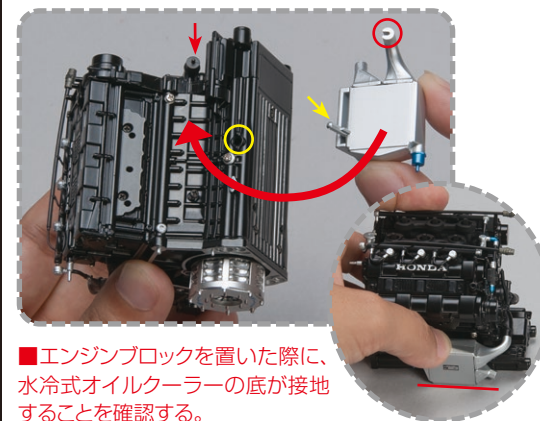
## 2 エンジンブロックに水冷式オイルクーラーを装着する

- 59号で組み立てたエンジンブロックと、55号で組み立てた水冷式オイルクーラーを用意する。



### 《仮組み》

エンジンブロックの赤矢印で示した突起と黄色い丸で示した穴、水冷式オイルクーラーの赤丸で示した凹みと黄色い矢印で示した突起、それぞれ同色で組み合わせるので確認する。



■エンジンブロックを置いた際に、水冷式オイルクーラーの底が接地することを確認する。

- エンジンブロックの赤矢印で示した突起の先と、黄色い丸で示した穴の縁に、つまようじで瞬間接着剤を少量塗り、仮組みしたように水冷式オイルクーラーを組み合わせ、1分ほど押さえる。



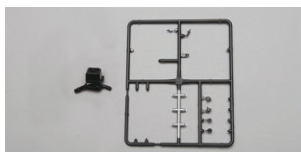
- エンジンブロックに水冷式オイルクーラーが装着された。



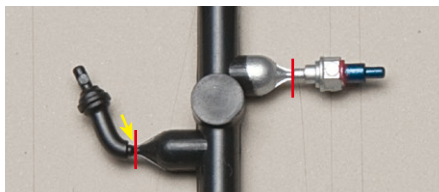
3

### ヘッダータンクにチェックバルブとウォーターインレットを取り付ける

- 53号で組み立てたヘッダータンクと、59号で使ったランナーパーツのチェックバルブと ウォーターインレットを用意する。



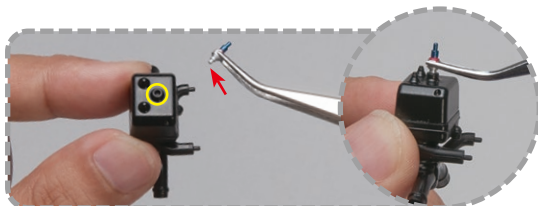
- ランナーパーツを裏返し、チェックバルブとウォーターインレットをカッターで赤線部分から切り離す。



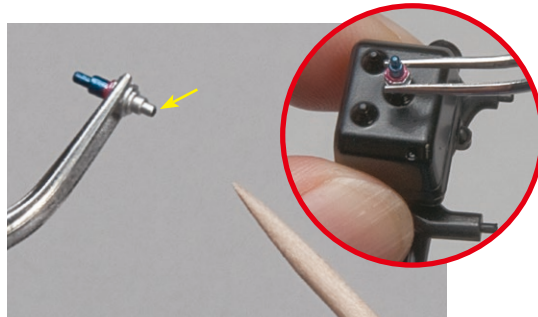
- ウォーターインレットは、黄色い矢印で示した突起を残してカットする。

#### 《仮組み》

ヘッダータンクの黄色い丸で示した凹みに、チェックバルブの赤矢印で示した突起を組み合わせるので確認する。

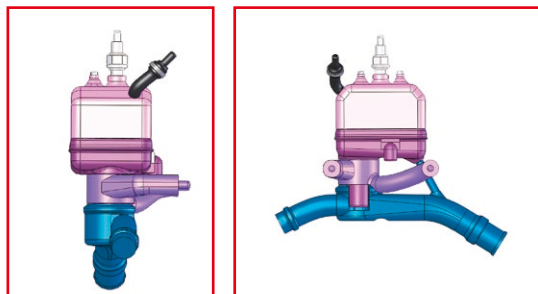
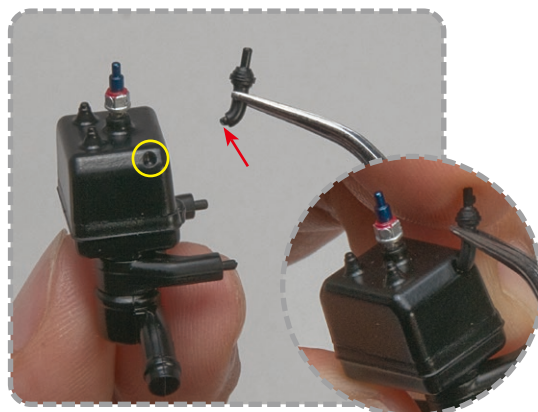


- チェックバルブの黄色い矢印で示した突起に、つまようじの先で瞬間接着剤を少量塗り、仮組みしたように組み合わせて、1分ほど押さえる。



#### 《仮組み》

ヘッダータンクの黄色い丸で示した凹みに、ウォーターインレットの赤矢印で示した突起を組み合わせ、接着箇所と向きを確認する。



- ウォーターインレットの取り付け向きは、図の黒く示した部分を参考にするとよい。

- ウォーターインレットの赤矢印で示した突起の先端に、瞬間接着剤をつまようじの先で少量塗り、仮組みしたように組み合わせ、1分ほど押さえる。



- ヘッダータンクにチェックバルブとウォーターインレットが取り付けられた。



4

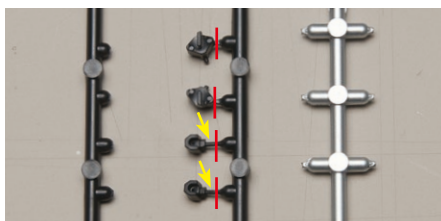
### ターボチャンバーにスロットセンサー(右) (左) を、エンジンブロックにオイルフィルタージョイントを取り付ける

- 54号で組み立てたターボチャンバーを用意する。





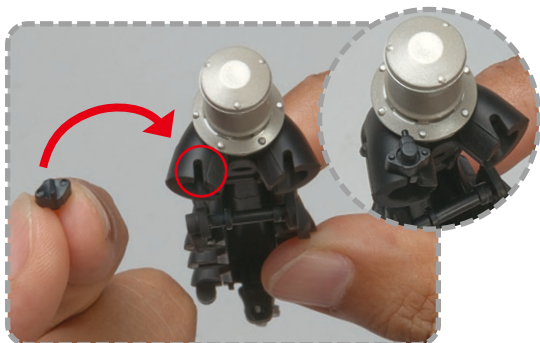
- ランナーパーツを裏返し、スロットセンサー(右)、スロットセンサー(左)、オイルフィルタージョイント×2をカッターで赤線部分から切り離す。



■ 取り付けを間違えないよう、作業することによりパーツを切り離すとよい。

### 《仮組み》

ターボチャンバーの前方、赤丸で示した右側の溝に、スロットセンサー(右)の裏側の突起を組み合わせ、接着面を確認する。



- ターボチャンバーの前方、右側の溝の赤線で示した部分に、瞬間接着剤をつまようじの先で少量塗り、仮組みしたようにスロットセンサー(右)の突起を組み合わせ、1分ほど押さえる。



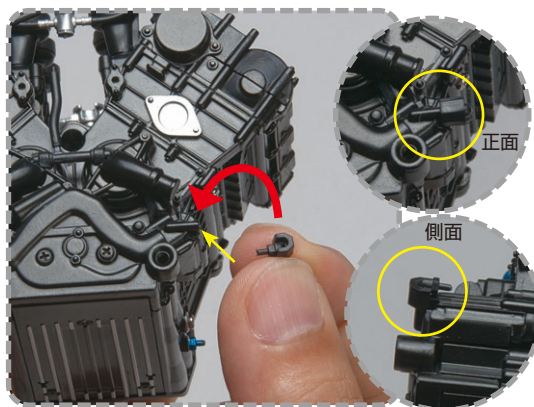
■ スロットセンサー(左)を取り付けの際は、黄色い線で示した部分に瞬間接着剤を塗る。

- 同様の作業をして、ターボチャンバーの前方、左側の溝にもスロットセンサー(左)を取り付ける。ターボチャンバーにスロットセンサー(右)(左)が取り付けられた。

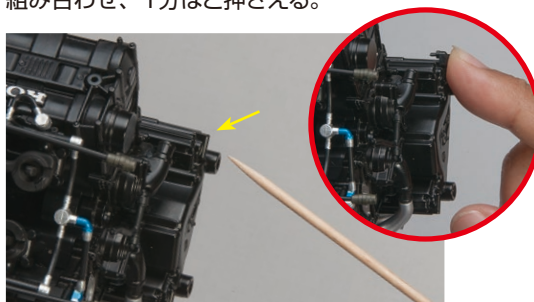


### 《仮組み》

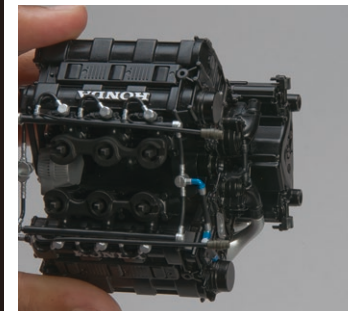
エンジンブロック左側面前方にある黄色い矢印で示した突起に、オイルフィルタージョイントの裏面の凹みを組み合わせ、接着面を確認する。



- エンジンブロック左側面前方にある黄色い矢印で示した突起の角に、瞬間接着剤をつまようじの先で少量塗り、仮組みしたようにオイルフィルタージョイントを組み合わせ、1分ほど押さえる。



- 同様の作業をして、エンジンブロック右側面前方にある突起に残りのオイルフィルタージョイントを取り付ける。エンジンブロックにオイルフィルタージョイントが2つ取り付けられた。



## 今号の完成

ウェイトゲート(左)(右)を組み立てたほか、ヘッダータンクにチェックバルブとウォーターインレットを、ターボチャンバーにスロットセンサー(右)(左)を取り付けた。さらにエンジンブロックに水冷式オイルクーラーを装着し、オイルフィルタージョイントを取り付けた。



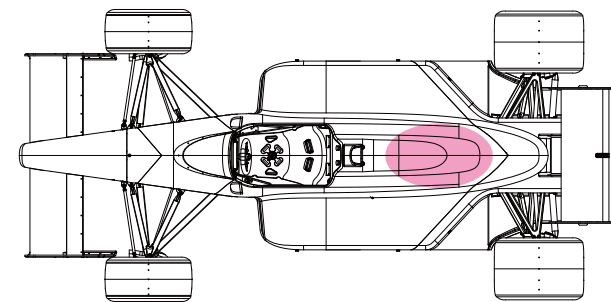
## 保管パーツ

今号で使用しなかったランナーパーツの④ターボチャージャーG(右)と⑤ターボチャージャーG(左)、⑨ビスFは、後の号で使用するまで大切に保管しておこう。



# Mission 61 モノコックに エンジンブロックを取り付ける

今号は、これまで分割して組み立ててきたエンジンブロックとモノコックを仮組みして、1つのメインボディに組み立てる。まず、エンジンブロックにヘッダータンクとターボチャンバーを、モノコックにノーズコーン、インタークーラーにインタークーラーパイプを取り付け、細かなディテールを再現していく。



## 今号のパーツ

① エキゾーストパイプ(左前) ダイキャスト製



② エキゾーストパイプ(左後内) ダイキャスト製



③ エキゾーストパイプ(左後外) ダイキャスト製



④ ビスJ (1.4×6P-M BK)×3



※ビスは予備1本を含む

## 今号で使用する道具

- ・プラスドライバー(00番) ※2号で提供(市販のドライバーでも可)
- ・瞬間接着剤 ・ピンセット ・つまようじ
- ・カッター ・カッティングマット

## 用意するもの

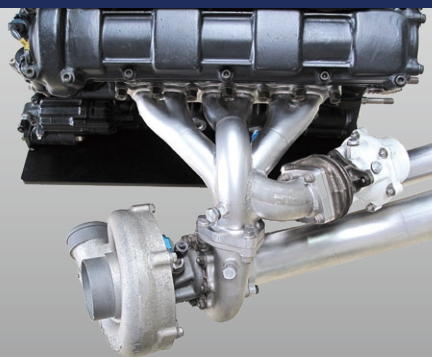
- ・ノーズコーン ※1号で組み立て
- ・エンジンマウントプレート(左)(右) ※53号、55号で提供
- ・モノコック ※56号で組み立て
- ・インタークーラーパイプ(左)(右) ※56号で提供
- ・エンジンブロック ※60号で組み立て
- ・ターボチャンバー ※60号で組み立て
- ・ヘッダータンク ※60号で組み立て
- ・ビスH (2.0×12P-M BK)×2
- ・ビスJ (1.4×6P-M BK)×4
- ・ビスK (1.4×10P-M SiL)×2
- ・ビスL (1.4×8P-M SiL)×2

## ポイント

完成後に取り外しができるパーツの組み立て

2

●本モデルは、完成後にボディカウルの取り外しや、モノコックとエンジン、ギアボックスの分割などで、内部構造を鑑賞することができる。今号以降、着脱が可能な組み立て作業には、ドライバーのアイコンと赤色の帯で案内する。



ターボエンジンのエキゾーストパイプは、排気をターボチャージャーへ導くため複雑な形状をしている。本モデルでは、そのディテールを再現するためにパーツを分割し、素材にダイキャストを使用している。また、実車のエキゾーストパイプは、エンジンの稼働により焼けて変色しているが、本モデルは新品の状態再現している。

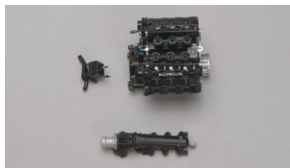
◀MP4/4のエキゾーストパイプ

In Focus



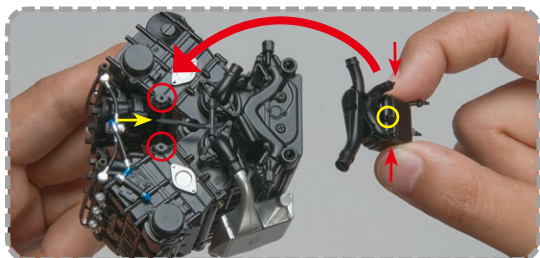
# 1 エンジンブロックにヘッダータンクとターボチャンバーを取り付ける

● 60号で組み立てたエンジンブロック、ターボチャンバー、ヘッダータンクを用意する。



## 《仮組み》

エンジンブロックの赤丸で示した2カ所の穴と黄色い矢印で示したヘッダータンクホースの先端、ヘッダータンクの赤矢印で示した2カ所の突起と黄色い丸で示した凹みを組み合わせるので、確認する。



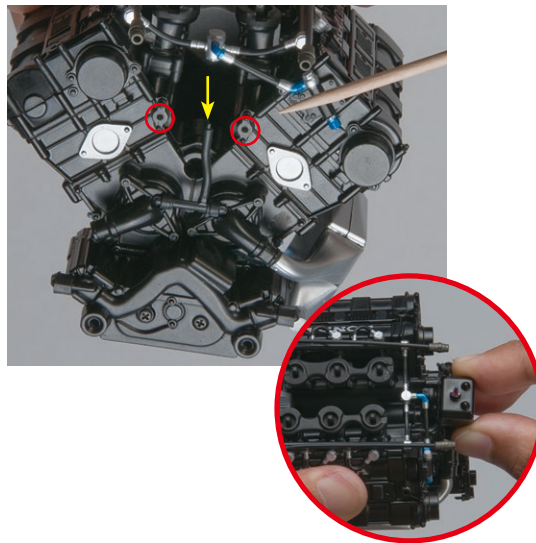
力を入れすぎないように注意しながら、ヘッダータンクホースの先端をやや外側に傾ける。



次に、ヘッダータンクホースの先端にヘッダータンクの凹みを乗せ、それからエンジンブロックの2カ所の穴にヘッダータンクの突起を合わせる。

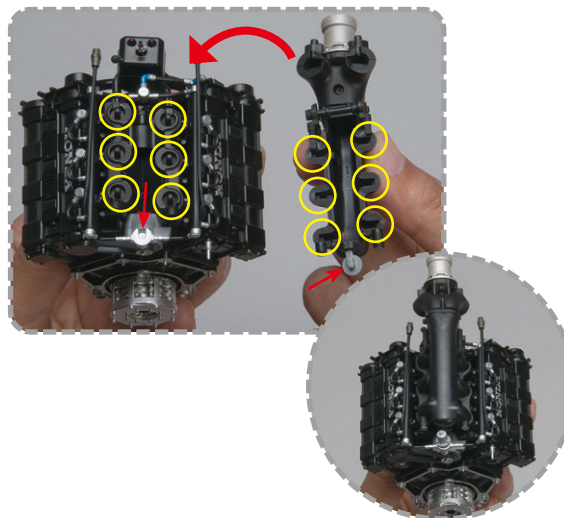


● エンジンブロックの赤丸で示した2カ所の穴と黄色い矢印で示したヘッダータンクホースの先端に、つまようじで瞬間接着剤を少量塗り、仮組みした手順でヘッダータンクを組み合わせ、1分ほど押さえる。

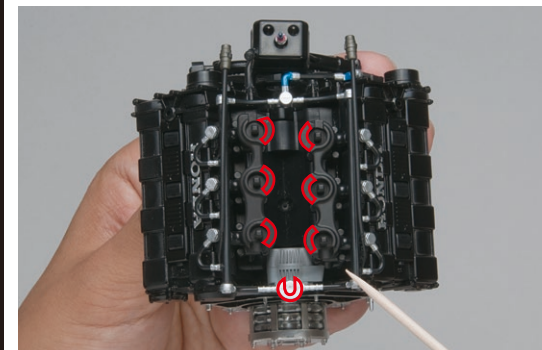


## 《仮組み》

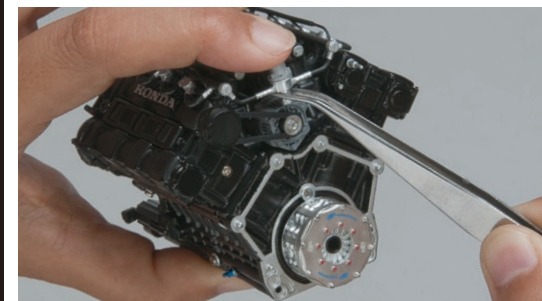
エンジンブロックの黄色い丸で示した突起と赤矢印で示した凹み、ターボチャンバーの黄色い丸で示した凹みと赤矢印で示した突起を組み合わせるので、確認する。



● エンジンブロックの接着面となる赤枠で示した部分に、つまようじで瞬間接着剤を少量塗る。



● 仮組みしたようにターボチャンバーを組み合わせ、1分ほど押さえる。



■ エンジンブロックとターボチャンバーの端についているインジェクションユニットA、Bは浮いた状態となっているので、ピンセットなどを用いて上下しっかり押さえる。

● エンジンブロックにヘッダータンクとターボチャンバーが取り付けられた。



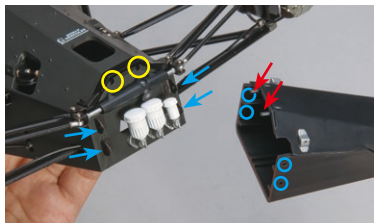
2

## モノコックに ノーズコーンを取り付ける

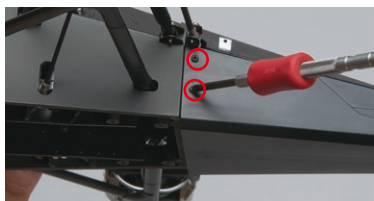
● 56号で組み立てたモノコック、1号で組み立てたノーズコーン、ビスJ×4を用意する。



● モノコックの先端の黄色い丸で示した穴と、ノーズコーンの赤矢印で示した突起を組み合わせると、青矢印で示したブラケットのビス穴がノーズコーンの青丸で示したビス穴に合っていることを確認する。

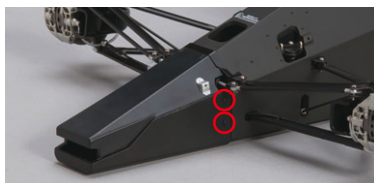


● ノーズコーンの右側面、赤丸で示したビス穴2カ所に、ビスJをそれぞれ差し、プラスドライバー(00番)で締める。



■ビスを締めすぎないように注意する。

● 同様に、ノーズコーンの左側面のビス穴2カ所に、ビスJをそれぞれ差し、プラスドライバー(00番)で締める。モノコックにノーズコーンが取り付けられた。



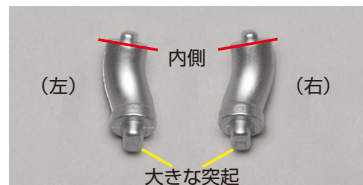
■ビスを締めすぎないように注意する。

3

## インタークーラーにインタークーラーパイプ(左)(右)を取り付ける

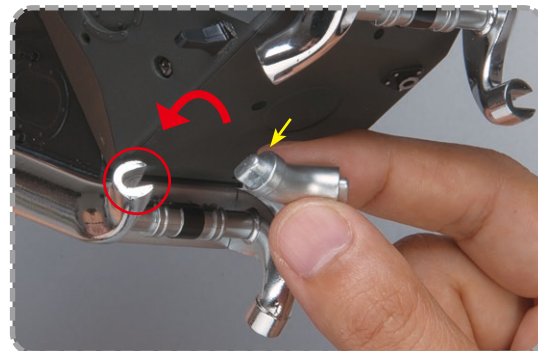
● 56号で提供されたインタークーラーパイプ(左)(右)を用意する。次の手順で左右を確認しよう。大きな突起側を手前にして、写真のように赤線部分の傾斜が内側になるように配置した時、左側にあるものが(左)、右側にあるものが(右)となる。

※ 56号の今号のパーツの写真では、インタークーラーパイプの左右の表記が逆になっているので、注意しよう。



### 《仮組み》

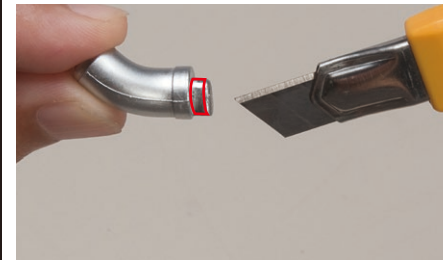
左側のインタークーラーの赤丸で示した凹みに、インタークーラーパイプ(左)の黄色い矢印で示した大きな突起を組み合わせるので、確認する。



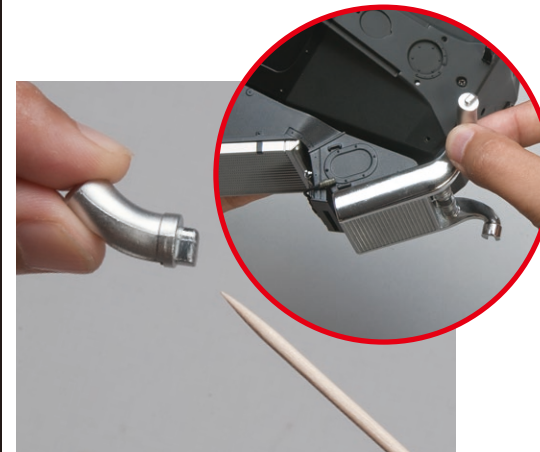
インタークーラー凹みに、インタークーラーパイプ(左)の大きな突起を組み合わせた状態



● インタークーラーパイプ(左)の接着面となる側面部分の塗装を、カッターの刃のない部分ではがす。



● インタークーラーパイプ(左)の接着面に、つまようじで瞬間接着剤を少量塗り、仮組みしたようにインタークーラーに組み合わせ、1分ほど押さえる。



● 同様に、右のインタークーラーにインタークーラーパイプ(右)を取り付ける。



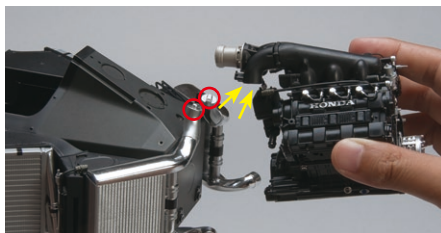


## 4 モノコックにエンジンブロックを仮組みする

● 53号と55号で提供されたエンジンmountプレート(左)(右)、ビスK×2、ビスL×2、ビスH×2を用意する。



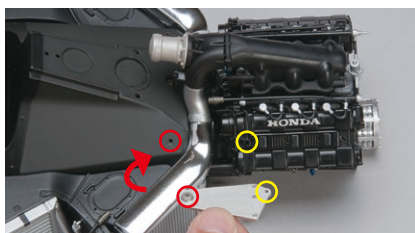
● インタークーラーパイプ(左)(右)の赤丸で示した突起と、ターボチャンバーの黄色い矢印で示した凹みを組み合わせる。



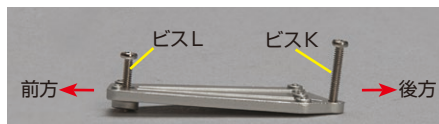
● インタークーラーパイプ(左)(右)にターボチャンバーを組み合わせた状態。



● モノコックの赤丸で示したビス穴とエンジンボックスの黄色い丸で示したビス穴に、エンジンmountプレート(左)の赤丸で示したビス穴と黄色い丸で示したビス穴、それぞれ同色を組み合わせるので確認する。



● エンジンmountプレート(左)の前のステップで赤丸で示したビス穴にビスL、黄色い丸で示したビス穴にビスKを一度通してから引き出しておく。



■ 前方に取り付けるビスLは短く、後方に取り付けるビスKが長い。

● 仮組みしたようにエンジンmountプレート(左)を合わせて、両方のビスを交互に少しずつ締めていく。

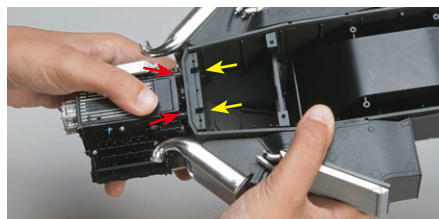


■ ビスの頭がプレートに接したら締めるのをやめ、締めすぎないように注意する。

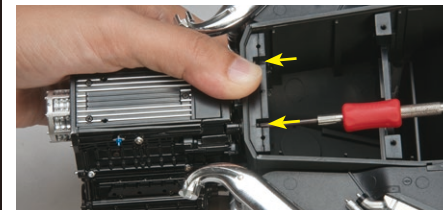
● 同様の作業をして、車体右側にエンジンmountプレート(右)を取り付ける。



● エンジンブロックを取り付けたモノコックを裏返し、モノコックの黄色い矢印で示したビス穴にエンジンブロックの赤矢印で示したビス穴を合わせる。



● モノコック側からビスHをそれぞれ差し、プラスドライバー(00番)で締める。



■ ビスの締めすぎに注意する。

● モノコックにエンジンブロックが仮組みされ、メインボディとなった。



## 今号の完成

今号は、エンジンブロックにヘッダータンクとターボチャンバーを、モノコックにノーズコーン、インタークーラーパイプ(左)(右)を取り付けた。さらにエンジンブロックをモノコックに取り付け、一体化したメインボディとなった。



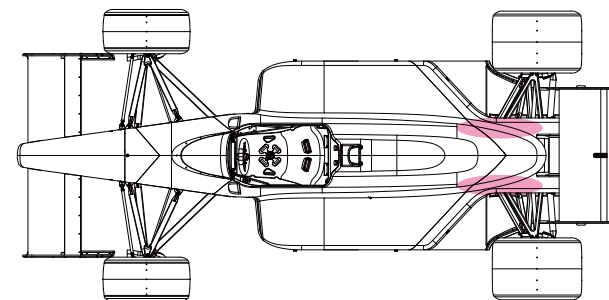
## 保管パーツ

今号で使用しなかった①エキゾーストパイプ(左前)、②エキゾーストパイプ(左後内)、③エキゾーストパイプ(左後外)、④ビスJは、後の号で使用するまで大切に保管しておこう。



# Mission 62 エキゾーストパイプを組み立てる

今号は、エンジンに繋がる左右のエキゾーストパイプを、接続部となるエキゾーストベースから終端のテールパイプまで組み立てていく。後の号でエンジンボックスに取り付ける。



## 今号のパーツ

① エキゾーストパイプ(右後内) ダイキャスト製



② エキゾーストパイプ(右前) ダイキャスト製



③ エキゾーストパイプ(右後外) ダイキャスト製



④ ビスG (2.0×6P-TP BK)×2



※ ビスは予備1本を含む

## 今号で使用する道具

- ・瞬間接着剤
- ・ピンセット
- ・つまようじ
- ・カッター
- ・カッティングマット

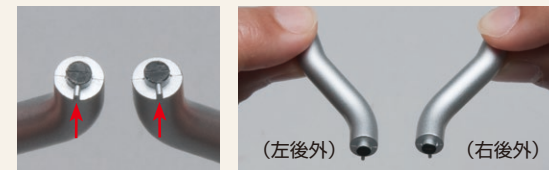
## 用意するもの

- ・テールパイプ(外)(内) ※57号で提供
- ・ターボチャージャーE(左)(右) ※58号で提供のランナーパーツ
- ・ターボチャージャーF(左)(右) ※58号、59号で提供
- ・エキゾーストベース(左)(右) ※59号で提供
- ・ターボチャージャーG(左)(右) ※60号で提供のランナーパーツ
- ・ウェイトゲート(左)(右) ※60号で組み立て
- ・エキゾーストパイプ(左前) ※61号で提供
- ・エキゾーストパイプ(左後内)(左後外) ※61号提供

## ポイント

エキゾーストパイプ(左後外)(右後外)の見分け方

●エキゾーストパイプ(左後外)(右後外)は、丸い突起のある部分を手前にして、赤矢印で示した部分を下に向け、写真のように逆「ハ」の字型になるように置いた時に、左側にあるのが(左後外)、右側にあるのが(右後外)となるので、左右を確認しておく。



片側3気筒からの排気を1本に集めるエキゾーストパイプを通った排気は、ターボチャージャーのタービンを回転させ、外側のパイプに排出される。また、ウェイトゲートにより調節された排気は、内側のパイプより排出される。本モデルでは、マクラーレン社への取材に基づき、複雑な排気システムを再現。素材をダイキャスト製にすることで実車の質感も再現しているが、三ツ又部分を一体化にして、組み立てやすさにも考慮している。

◀MP4/4のエキゾーストパイプ

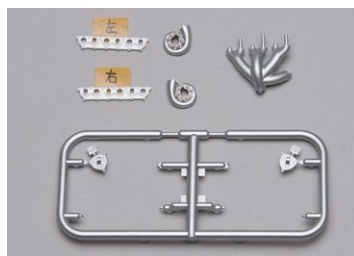
In Focus



1

## エキゾーストベース (左) (右) と エキゾーストパイプ (左前) (右前)、 ターボチャージャー F (左) (右)、 ターボチャージャー G (左) (右) を 組み合わせる。

● 58号と59号で提供されたターボチャージャー F (左) (右)、59号で提供されたエキゾーストベース (左) (右)、60号で提供されたランナーパーツのターボチャージャー G (左) (右)、61号で提供されたエキゾーストパイプ (左前) を用意する。



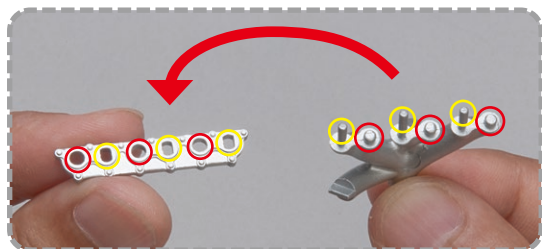
● ランナーパーツを裏返し、ターボチャージャー G (左) (右) の赤線の部分をカッターで切り離す。



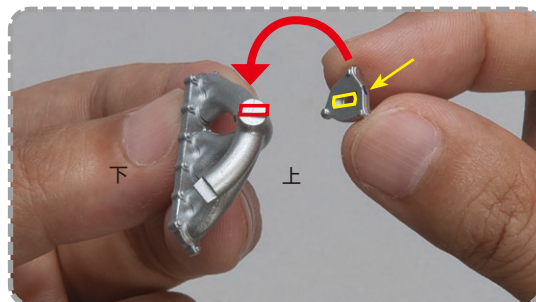
■ 左右を間違えないよう、作業することに切り離す。

### 《仮組み》

エキゾーストベース (左) の模様のある表側の赤丸で示した穴と黄色い丸で示した穴に、エキゾーストパイプ (左前) の赤丸で示した突起と黄色い丸で示した突起を、それぞれ同色で組み合わせ、接着面を確認する。

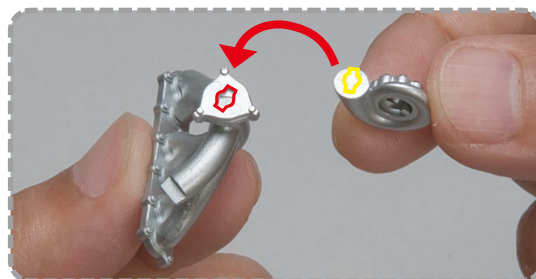


エキゾーストパイプ (左前) の赤枠で示した突起と、ターボチャージャー G (左) の黄色い枠で示した穴を組み合わせ、接着面を確認する。

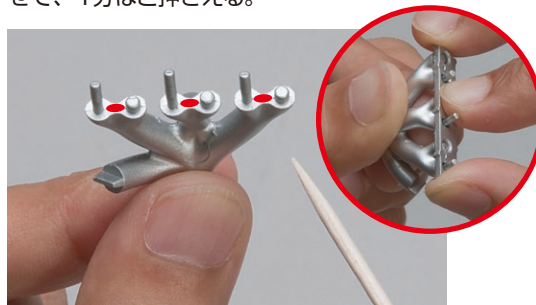


■ 組み合わせたとき、黄色い矢印で示したターボチャージャー G (左) のゲート跡が下になる。

エキゾーストベース (左)、エキゾーストパイプ (左前)、ターボチャージャー G (左) を組み合わせたものの赤枠で示した部分に、ターボチャージャー F (左) を組み合わせ、接着面を確認する。



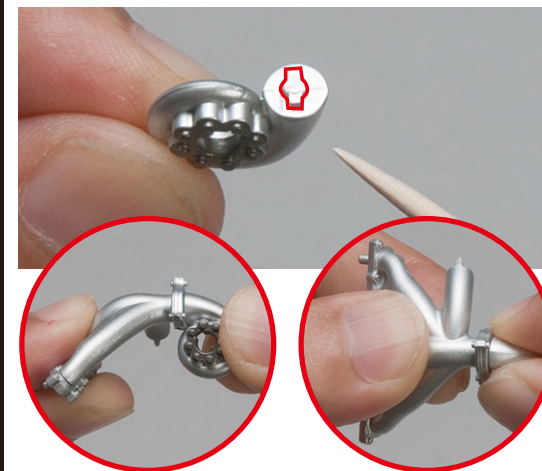
● エキゾーストパイプ (左前) の接着面となる赤で示した部分に、つまようじの先で瞬間接着剤を少量塗り、仮組みしたようにエキゾーストベース (左) を組み合わせて、1分ほど押さえる。



● エキゾーストパイプ (左前) の赤線で示した突起の付け根に、つまようじの先で瞬間接着剤を少量塗り、仮組みしたようにターボチャージャー G (左) を組み合わせて、1分ほど押さえる。



● ターボチャージャー F (左) の赤枠で示した突起の付け根に、つまようじの先で瞬間接着剤を少量塗り、仮組みしたように組み合わせて、1分ほど押さえる。



● 同様の作業をして、エキゾーストベース (右)、● エキゾーストパイプ (右前)、ターボチャージャー G (右)、ターボチャージャー F (右) を接着する。エキゾーストパイプ (左前) (右前) ができた。



## 2 ウェイストゲート(左)(右)に、エキゾーストパイプ(左後内)(右後内)、テールパイプ(内)を取り付ける

● 57号で提供されたテールパイプ(内)×2、60号で組み立てたウェイストゲート(左)(右)、61号で提供されたエキゾーストパイプ(左後内)を用意する。



### 《仮組み》

ウェイストゲート(左)の黄色い矢印で示した突起に、エキゾーストパイプ(左後内)の赤丸で示した部分を組み合わせ、接着面を確認する。



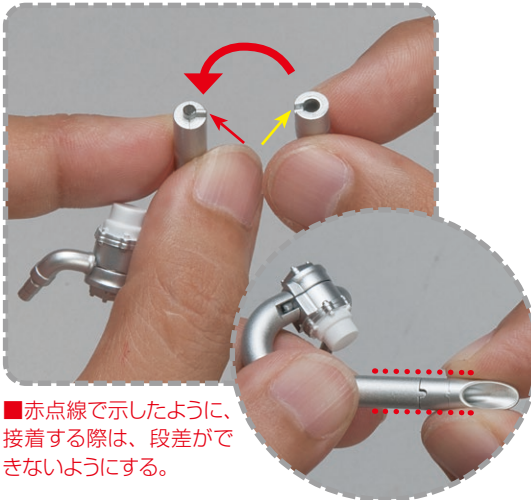
■ 組み合わせた際に、赤い点線で示した部分が一直線になるようにする。

● 赤枠で示したエキゾーストパイプ(左後内)の接着面となる突起の付け根に、つまようじの先で瞬間接着剤を少量塗り、仮組みしたようにウェイストゲート(左)に組み合わせて、1分ほど押さえる。



### 《仮組み》

エキゾーストパイプ(左後内)の赤矢印で示した突起に、テールパイプ(内)の黄色い矢印で示した穴と凹みを組み合わせ、接着面を確認する。



■ 赤点線で示したように、接着する際は、段差ができないようにする。

● エキゾーストパイプ(左後内)の突起の付け根に、つまようじの先で瞬間接着剤を少量塗り、仮組みしたようにテールパイプ(内)を組み合わせて、1分ほど押さえる。

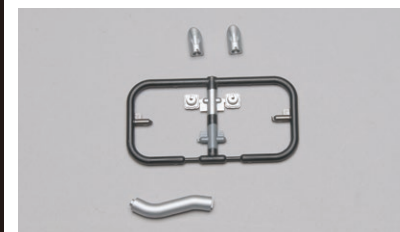


● 同様の作業をして、ウェイストゲート(右)に①エキゾーストパイプ(右後内)、テールパイプ(内)を接着する。エキゾーストパイプ(左後内)(右後内)ができた。

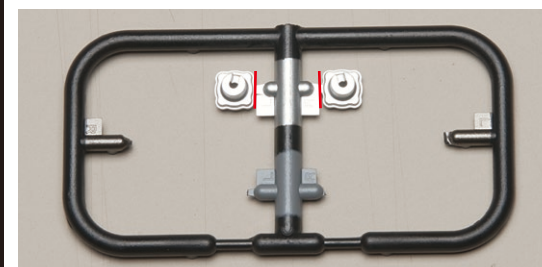


## 3 エキゾーストパイプ(左後外)(右後外)にテールパイプ(外)、ターボチャージャーE(左)(右)を取り付ける

● 57号で提供されたテールパイプ(外)×2、58号で提供されたランナーパーツのターボチャージャーE(左)(右)、61号で提供されたエキゾーストパイプ(左後外)を用意する。



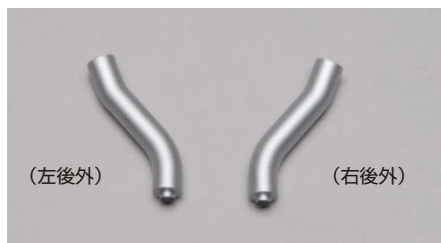
● ターボチャージャーE(左)(右)の赤線の部分をカッターで切り離す。



■ 左右を間違えないよう、作業することに切り離す。

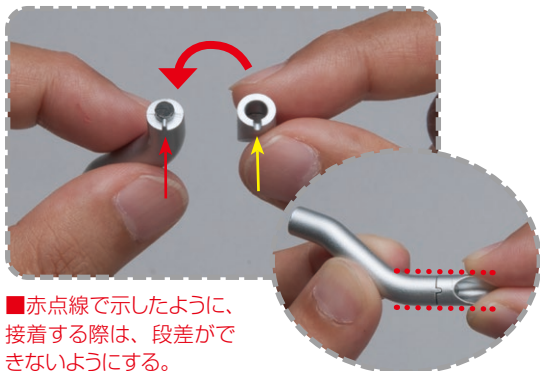


- ポイントを参考にしながらエキゾーストパイプ(左後外) (右後外)を確認しておく。



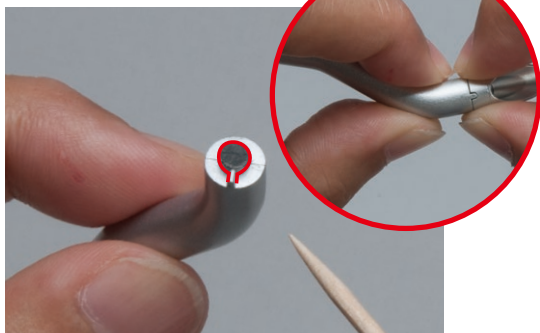
### 《仮組み》

エキゾーストパイプ(左後外)の赤矢印で示した突起に、テールパイプ(外)の黄色い矢印で示した穴と凹みを組み合わせ、接着面を確認する。



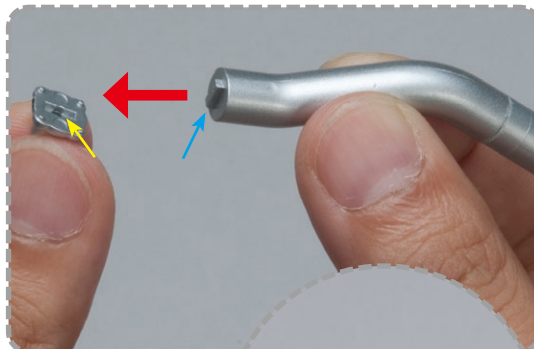
■ 赤点線で示したように、接着する際は、段差がでないようにする。

- エキゾーストパイプ(左後外)の突起の付け根に、つまようじの先で瞬間接着剤を少量塗り、仮組みしたようにテールパイプ(外)を組み合わせて、1分ほど押さえる。



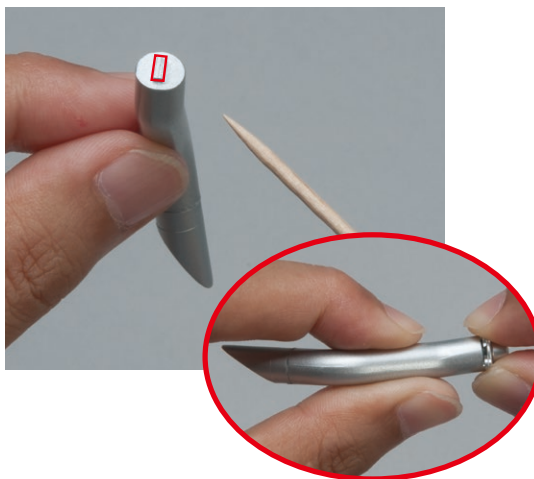
### 《仮組み》

エキゾーストパイプ(左後外)の青矢印で示した突起に、ターボチャージャー E (左)の黄色い矢印で示した穴を組み合わせるので確認する。

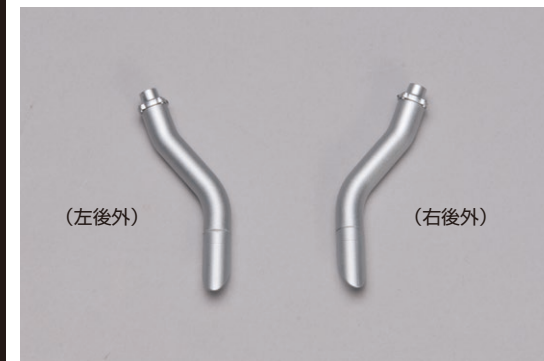


■ ターボチャージャー Eの赤丸で示した切り欠きが、テールパイプ(外)の黄色い丸で示した部分と同じ下側になるようにする。

- エキゾーストパイプ(左後外)の突起の付け根に、つまようじの先で瞬間接着剤を少量塗り、仮組みしたようにターボチャージャー E (左)を組み合わせて、1分ほど押さえる。



- 同様の作業をして、⑨エキゾーストパイプ(右後外)、テールパイプ(外)、ターボチャージャー E (右)を接着する。エキゾーストパイプ(左後外)(右後外)ができた。



### 今号の完成

今号は、エキゾーストパイプ(左前)(右前)、エキゾーストパイプ(左後内)(右後内)、エキゾーストパイプ(左後外)(右後外)を組み立てた。



### 保管パーツ

今号で使用しなかったビス Gは、後の号で使用するまで大切に保管しておこう。

